

授 業 科目名	【 G 】 フレッシュマン・セミナーⅡ		【 H 】 フレッシュマン・セミナーⅡ		区 分 必 履 修	開講年次	【 G 】 1 【 H 】 1	単位数	【 G 】 2 【 H 】 2
科目区分	基本科目								
授業形態	対面授業								
担当形態	単 独								
施行規則に定める科目区分又は事項等									
サブ タイトル	ワークを通した大学生としての基礎的なスキルの習得					担当者	榎本 恭介		
授業概要	【概要】	大学生としての学習に必要な基礎能力の習得を目標に、心理学に関するテーマなどを用いた授業を通して必要なスキルを身につける。 具体的には、グループワーク、ディスカッション、レポートの執筆等を通して、自らの考えを文章や言葉にして発信することや、他者と意見交換する際に重要な点についての学びを深める。またその学びを通して、自分の大学生活の見通しを持つことを目指す。							
	【到達目標】	(1) 大学生としての学習に必要な様々なスキル等を身に付け、他の授業においても応用できるようになる。 (2) 心理学に関するワークを通して、自分の大学生活の見通しを持つ。							
履修条件	本授業は自分の意見の発表や他者との意見交換を積極的に行う。そのため、積極的な授業参加を目指し、グループワーク等にも意欲的に参加しようとする者が望ましい。								
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク	
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ	
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他	
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－ (当てはまらない)						
他科目との 関連性	特になし。								
教科書	特に指定しない。適宜資料を配布する。								
参考書	特に指定しない。								
評価方法	授業への参加度ならびに授業内課題(60%)、期末レポート(40%)を総合的に評価する。								
フィードバック 方法	各課題については演習内でフィードバックを行う。								
評価基準	授業に積極的に参加して、学習した内容をよく理解し、課題を達成できた者にはその程度により「S」または「A」、不足がある場合にはその程度により「B」または「C」とする。参加度や達成度が著しく低い者はその程度により「D」または「E」、全く参加しないなど判定不能な者は「F」とする。								

授 業 科目名	【 G 】 フレッシュマン・セミナーⅡ	区 分	開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】 フレッシュマン・セミナーⅡ	必 履 修		【 H 】 1		【 H 】 2
授業内容	<Ⅰ. オリエンテーション・自己紹介・アイスブレイク(第1回)> 授業の概要の説明、教員および学生間での自己紹介、アイスブレイクのワークを行う。 <Ⅱ. (第2回～第14回)> 大学生生活と心理学を絡めたワークおよびにグループディスカッションを行い、自分についての理解を深め、言語化を行う。 扱うテーマは、「コミュニケーションの向上」「自身の価値観や強みに関する自己分析」「ストレスマネジメント」等である。 <Ⅲ. 価値のワークと総括(第15回)> 心理学の概念である「価値」についての授業を行った後、半期の授業を振り返り学んだ内容を総括する。					
予習内容	・授業中に与えられた課題について、資料等を検索しまとめる。 ・授業毎の予習時間は、90分程度を目安としてください。					
復習内容	・授業中に解説された内容について振り返り、ノート等にまとめる。 ・授業毎の復習時間は、90分程度を目安としてください。					
その他	受講者の興味・関心に合わせて授業の内容を変更する場合がある。 ※G・H加:【必修修(○お)】					